



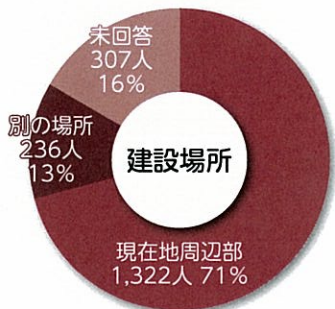
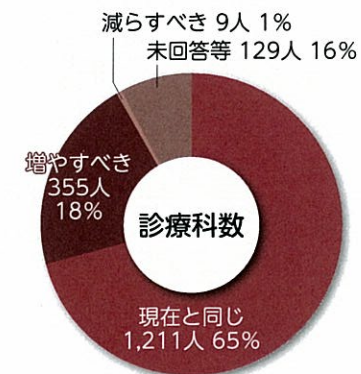
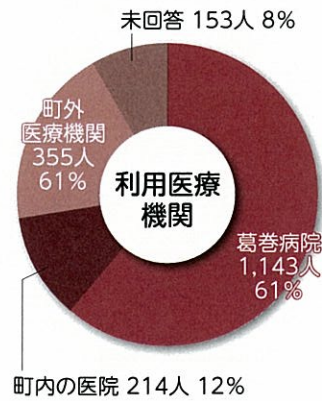
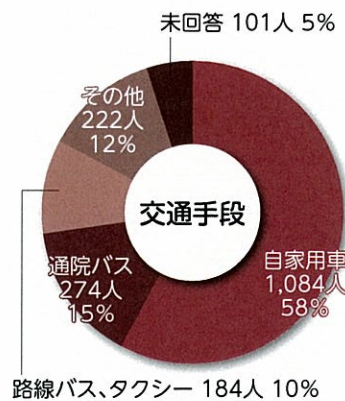
やまぎし み
山岸はる美 議員

問 新病院建設までの 取り組みについて

答 アンケートを反映、
検討委員会で対応

議員 現在の葛巻病院は、建築から40年が経過しました。老朽化が著しく、向こう半世紀に対応した病院の建設に当たり、住民の意向を大いに反映した病院づくりのためにアンケート調査を実施しましたが、その結果と対応は。

町長 本町では、町民や周辺地域住民の方々の生命と健康を守る公立病院として、地域医療サービスの提供に努めてきました。



昭和47年に整備され、築40年を迎え老朽化が著しいことから、建て替えを判断しました。

2856全世帯を対象にアンケート調査を行い、1865世帯が回答。回答率は65%で、内容は左のグラフのとおりです。

アンケート調査を通して200件を超える要望などがありました。新病院を建設するに当たり、庁内には副町長を委員長として関係各課長で構成する「病院建設プロジェクトチーム」を、

答 病床利用率は前年度下回る

23年度の外来患者数は、3万6459人、1日平均149人で、前年度との比較では18人の減となっています。

病床利用状況は、23年度の延べ入院患者数1万3594人、1日平均37人で病床利用率は48%となっています。前年度との比較では、1日平均15人の減、病床利用率は19ポイント下回っています。

問 入院ベッドの利用状況は

外来患者数と、入院ベッドの利用状況の推移は。

答 医療現場である葛巻病院内では、病院長を中心に院内での検討を進めています。

また、町内の医療機関や学識経験者、関係機関の職員などで構成する「葛巻病院整備検討委員会」を設置し、様々な要望を反映させるよう、それぞれ専門的な立場からの分析・検討を行い対応する考えです。

問 59歳職員への退職勧奨の是正と 65歳定年制への考えは

答 国の動向見ながら総合的に判断、
無年金期間が生じない対応策

議員 町職員の退職は、59歳に町が一齐に退職勧奨を行い、60歳定年より1年早く辞めていく実態にあります。60歳に達していないため、無年金・無収入の期間が発生します。

さらに、年金開始年齢が25年度から、段階的に60歳から65歳へと引き上げられ、無年金・無収入の期間が拡大されます。

59歳での一斉退職勧奨を早期に是正するとともに、65歳定年制への移行を検討すべきです。

町長 59歳に達する職員への退職勧奨の書面交付は、16年度から実施しています。当時、国の三位一体改革による地方交付税の減額や市町村合併での「当面自立」などの考えから導入。この8年間で48人に勧奨し、47人が退職し、24年度の対象者は13人です。

59歳の職員の退職勧奨は、今後、「国家公務員の雇用と年金の接続に関する基本方針」など、国の動向を見ながら、総合的に判断し運用する考えです。

職員の雇用と年金の接続は、人事管理上重要な課題と認識しています。無年金・無収入の期

間を生じさせないとの観点からその対応策を講じます。

問 生ごみの出し方の周知方法と対応策

ごみの分け方・出し方が、10月から変更され、細分化されます。従来の燃えるごみを、「生ごみ」と「プラスチック製」「紙製」の容器包装、「その他の紙類」に分別し、決められた日に出す内容となっています。

さらに、田子から四日市までは、「生ごみ」だけの回収も行われます。特に集積所への出し方で、最初は周知不足や戸惑いから現場対応が大変と思われるですが、その対応策は。



各地区で行われた「ごみ」の分け方・出し方説明会（象鼻会館）

答 くずまきテレビと集積所での指導を

各家庭の生ごみ処理は、バケツ等に入れて集積所に運び、収集日の朝8時30分までに回収容器に入れると、9時30分までに回収・運搬します。回収容器はプラスチック製ふた付きで、鳥や虫、夏場の臭いなど衛生面にも配慮したものです。周知は9月15日から「くずまきテレビ」で特別番組として放映されます。また、各集積所での指導も行うなど、周知徹底を図ります。

問 破損した木製遊具
早急な更新が必要

運動公園子ども広場の遊具が更新・整備されておらず、いまだに破損遊具が見受けられるが。

答 本町特産の集成材活用した遊具設置

老朽化した遊具は、定期的な点検、撤去や修繕を行っています。

今後は、本町特産の集成材を活用した丸太ベンチなどを設置するようにします。

